

【公開シンポジウム】

日本列島 1 万年の歴史からみた
**生物多様性と
資源利用の知恵**

2010 年 12 月 4 日 (土)
13:00 ~ 16:50 (開場 12:30)

京都会館 会議場 入場無料・事前申込不要
(京都市営地下鉄 東西線「東山」駅下車、2 号出入口より北へ徒歩 8 分)

日本列島に生きてきた人々は、地域の自然からさまざまな恵みを受けてきたと同時に、自然を改変することでさまざまな土地利用のあり方を生み出してきた。そして、そこからさまざまな動植物を持続的に利用するという地域独自の伝統的な知恵を養ってきた。定住した人々が地域の自然と相互にやり取りをすることで、生き物にとってのさまざまな生息環境が作り出され、豊かな生物多様性が育まれてきた。しかしながらそのような人間と自然との関わりが常に持続的であったわけではない。さまざまな社会・経済の変化や社会的葛藤によって変容して今に至っているのである。人と自然のよりよい関係は現在だけを見ても語れない。だからといって過去だけを見てもわからない。過去の自然とのつきあい方を学びつつ、そこで生まれたさまざまな知恵を、これからの社会に活かしてゆく方法を考えたい。

趣旨説明：湯本貴和 (総合地球環境学研究所)

日本列島における半自然草原の歴史
：人間活動の変化と草原の維持
須賀 丈 (長野県環境保全研究所)

開拓がもたらした北海道の資源利用の変容
児島恭子 (昭和女子大学 人間文化学部)

里山の自然資源利用史に現れた持続と破綻、そして管理の役割
佐久間大輔 (大阪市立自然史博物館)

近世日本における山地資源の収奪と保全
白水 智 (中央学院大学 法学部)

総合討論：過去に学ぶ資源利用の知恵を未来にどう活かすか
【コーディネーター】湯本貴和

主催 総合地球環境学研究所 列島プロジェクト
(研究プロジェクト 日本列島における人間－自然相互関係の歴史的・文化的検討)

連絡先(地球研) 〒 603-8047 京都市北区上賀茂本山 457-4
Tel : 075-707-2470 Fax : 075-707-2507
<http://www.chikyu.ac.jp/retto/index.html>

